

東京バレエ団
創立50周年



記念シリーズ 3

夢は美しく、恋は強い。

巨匠ノイマイヤーの若き力がみなぎる記念碑的な傑作、
創立50周年を機に東京バレエ団初演！

沖香菜子

柄本弾

ロミオと ジュリエット

ジョン・ノイマイヤー振付

音楽：セルゲイ・プロコフィエフ 装置・衣裳：ユルゲン・ローゼ

全3幕

東京バレエ団



総監督：佐々木忠次
芸術監督：飯田宗孝

指揮：ベンジャミン・ポーブ 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

会場 東京文化会館（上野）

2014年

2月6日[木] 6:30p.m.

(ジュリエット：沖香菜子/ロミオ：柄本弾)

2月7日[金] 6:30p.m.

(ジュリエット：エレーヌ・ブシュ/ロミオ：ティアゴ・ボアティン)

2月8日[土] 2:00p.m.

(ジュリエット：沖香菜子/ロミオ：柄本弾)

2月9日[日] 2:00p.m.

(ジュリエット：岸本夏未/ロミオ：後藤晴雄)

主催：公益財団法人日本舞台芸術振興会/東京バレエ団
後援：東京バレエ協議会

入場料(税込) S ¥11,000 A ¥9,000 B ¥7,000
C ¥5,000 D ¥4,000 E ¥3,000
※未就学児童のご入場はお断りします。

前売所 ●e+ (イープラス) ●チケットぴあ ●CNプレイガイド
●東京文化会館チケットサービス ●ローソンチケット

お問い合わせ お申し込み

NBS チケットセンター 03-3791-8888

NBS WEBチケット

NBSホームページ <http://www.nbs.or.jp/>

NBSモバイル <http://www.nbs.or.jp/i/>

NBSのホームページ [NBS](#)



岸本夏未



後藤晴雄

疾走する青春。ドラマティックな恋。
東京バレエ団が総力を挙げて贈る
50周年記念シリーズのハイライト!

柄本弾

沖香菜子



※舞台写真はハンブルク・バレエ団の公演より
photo: Holger Badekow

ロミオとジュリエット

東京バレエ団創立50周年記念公演第2弾に登場するのは、ドラマティック・バレエの巨匠として現代に並ぶ者のないジョン・ノイマイヤーの大作「ロミオとジュリエット」です。東京バレエ団はこれまでノイマイヤーによる二つのオリジナル作品——日本的な題材から生まれた「月に寄せる七つの俳句」「時節の色」と、「スプリング・アンド・フオール」という詩的な中編を上演してきました。しかしノイマイヤーの代名詞でもある物語バレエの大作に挑むのはこれが初めてのことです。ノイマイヤーが「ロミオとジュリエット」を発表したのは1971年。ラヴロフスキー、アシウトン、克蘭コ、マクミラン、ベジャール…錚々たる振付家たちの名作が誕生した後に、29歳のノイマイヤーは原作であるシェイクスピアの戯曲に立ち戻ることで、それまでとはまったく違ったアプローチで本作を創造し、その成功によって振付家としての名声を不動のものとなりました。想い人に付きまとう惚れつばいロミオと、バस्ताオル一枚ではじやき回るあどけないジュリエット。前代未聞の主人公たちの登場に始まる本作は、恋がもたらす彼らの変化を主軸に、おなじみの登場人物たちに新しい解釈が与えられ、緻密に組み立てられた物語が展開します。また祭りに沸く街に旅芸人の一座を登場させ、時空を超えて恋人たちの心理や運命を描くという独創的な演出もノイマイヤーならではの。「この作品がすべての出発点となった」と語る若き日の巨匠のエッセンスが詰まった本作は、今なお新鮮な驚きと魅力に溢れています。

ジョン・克蘭コ振付「オネーギン」で実力を蓄えた東京バレエ団が取り組む、2作目の本格的な物語バレエにどうぞご期待ください!

2月9日(日)



ジュリエット
岸本夏未



ロミオ
後藤晴雄

2月7日(金)



ジュリエット
エレーヌ・ブシェ
(ハンブルク・バレエ)



ロミオ
ティアゴ・ポアディン
(ハンブルク・バレエ)

2月6日(木)/8日(土)



ジュリエット
沖香菜子



ロミオ
柄本弾

※2月6日と9日にジュリエットを踊る予定だった河谷まりあは、リハーサル中に肋骨を骨折したため出演できなくなりました。そのため河谷に代わって、岸本夏未がジュリエット役を踊ります。なお振付家のジョン・ノイマイヤーが、来日して振付指導に当たったケヴィン・ヘイゲンと、ダンサーたちのリハーサルの進行状況等から検討した結果、公演初日の2月6日は沖香菜子・柄本弾がロミオとジュリエットを務めることが最善であるとの結論を下しました。これら変更につきなにとぞご理解いただけますようお願い申し上げます。また、正式な配役は公演当日発表とさせていただきます。(2014年1月23日付)

あらすじ

ルネッサンス初期のイタリア、守護聖人ゼーノの祭りを控えたヴェローナ。想い人を待って通りで夜を明かすロミオと、彼を気遣う親友のロレンス神父。街には旅芸人の一座が現れ、その一団にロミオの友人で芸術家肌のマキューシオが混ざっている。従姉妹たちと浴室ではしゃいでいたジュリエットは、母から当夜の舞踏会で社交界にデビューすることを告げられる。舞踏会で出会ったロミオとジュリエットは恋に落ち、深夜、ジュリエットの部屋のバルコニーで想いを交わす。祭り

の当日。芸人たちが芝居で広場を沸かせる一方、ロミオとジュリエットはひそやかに結婚式を挙げる。しかしその直後、キャピュレットとモンタギュー両家の争いに巻き込まれたロミオは、マキューシオを殺された怒りからジュリエットの従兄弟ティボルトを殺してしまい、街を追放される。悲しみの一夜を共に過ごす恋人たち。朝になり、両親からパリスとの結婚を強要されたジュリエットは、離れてますます強まるロミオへの思いを胸に、ロレンス神父のもとを訪ねるが…。

《東京バレエ団50周年記念シリーズ》

2013年
●「ザ・カブキ」12月中旬
●第26次海外公演 ギリシャ 12月下旬

2014年
●ジョン・ノイマイヤー振付「ロミオとジュリエット」東京バレエ団初演 2月上旬
●第27次海外公演 ベルギー、オーストリア、ドイツ、イタリア 5~6月

●創立50周年記念 祝祭ガラ 8月下旬
●「ドン・キホーテ」全幕 9月下旬

●モーリス・ベジャール振付「第九交響曲」東京バレエ団初演 [共演:ズービン・メータ指揮イスラエル・フィル、モーリス・ベジャール・バレエ団] 11月上旬
●「くるみ割り人形」全幕 12月中旬

2015年
●「眠れる森の美女」全幕 2月上旬
●「ジゼル」全幕 3月中旬